

令和3年度 スポーツパフォーマンス研究センター事業計画書

スポーツパフォーマンス研究センター長 前田 明

I. 年度計画・目標

1. これまでスポーツパフォーマンス研究センターを活用して実施してきたさまざまな研究プロジェクトについて検証し、本センターの活用方法の見直し案を策定する。
2. スポーツパフォーマンス研究を推進するとともに、海外の研究者および異分野との共同研究を推進する。

II. 事業計画（各事業の担当名／実施期間）

1. 研究プロジェクト

- (1) 学内外の研究者によるスポーツパフォーマンス研究を推進する。（担当 松村・塩川・高橋ほか／通年）
- (2) 海外の研究者および異分野との共同研究を推進する。（担当 和田・永原ほか／通年）
- (3) 産学官連携による共同研究を推進し、外部資金の獲得を推進する。（担当 前田・高橋ほか／通年）
- (4) これまでのプロジェクトを検証し、報告書を作成する。（担当 高橋・前田ほか／7月予定）
- (5) センター協力者会議を実施し、これまでのプロジェクトについて検証を行う。（担当 前田・高橋ほか／2月予定）

2. 教育（授業に関するものを除く）プロジェクト

- (1) スポーツパフォーマンス研究センター機器説明会を実施する。（担当 村田ほか／諸般の状況、ニーズに合わせて内容を適宜対応）

3. 社会連携・社会貢献プロジェクト

- (1) 産学官連携による多角的な社会連携、社会貢献を行う。（担当 前田・高橋ほか／通年）

III. 予算計画（附属施設経費（スポーツパフォーマンス研究センター経費）6,200千円

区分	金額	内訳
給与・賃金	2,400千円	事務補佐員1名、清掃スタッフ1名
報酬（謝金）	30千円	協力者会議講師謝金
講師旅費	170千円	協力者会議講師旅費
印刷製本費	100千円	報告書作成（令和元年度分）
保守費	2,740千円	50mフォースプレート保守点検費、製氷機保守料
修繕費	100千円	床ワックス清掃 （解析室、セミナー室、玄関、トイレ）
備品費	200千円	ショーケース（色紙、記念品等の保管）
消耗品費	250千円	清掃用品、事務用品
通信運搬費	10千円	郵送等
雑費	200千円	予備、その他